

講義コード	11C0280400	授業形態	講義	事前登録の有無	なし	担当教員	青才 高志	開講期	通年
科目名	社会経済学					青才 高志		通年	
履修前提条件						備考			
授業の目的	<p>第1期では、現に今私達が生活している資本主義社会とはいかなる社会であるのかということ、歴史的・社会的に明らかにする。そのために、(1) 動物と異なる人間の経済生活の特殊性、(2) 資本主義以前の社会、(3) 資本主義社会の成立、(4) 資本主義の歴史の変容を問題にする。</p> <p>第2期では、現に今私達が生活している資本主義経済の構造・法則・機構を明らかにする。</p>								
到達目標	<p>(1) 経済学の基礎的な用語の修得。そして、そのことを通じて、同時に、現実の経済を把握する際の視点、現実を切る道具を学んでもらう。</p> <p>(2) 当然のこと、あたりまえ(当たり前)のことと見えることがいかに歴史的・社会的な規定を受けているかを、資本主義経済がどういう特殊性を持っているかを、知ってもらう。</p> <p>(3) 資本主義経済の構造・法則・機構を認識することを通じて、現実を解剖し、問題を発見・解決する力を身につけてもらう。</p>								
授業外学修内容・ 授業外学修時間数	<p>各回の授業で扱った内容や、次回の授業で扱う予定の内容について、参考書を用いて、また、図書館やインターネット等を利用して予習・復習を行う。授業外で計120時間以上の学習を行うこと。</p>								
授業計画	<p>【第1回】はじめに 人間の経済生活 【第2回】狩猟採取・農耕・牧畜経済(1) 【第3回】狩猟採取・農耕・牧畜経済(2) 【第4回】封建社会から資本主義社会へ(1) 【第5回】封建社会から資本主義社会へ(2) 【第6回】封建社会から資本主義社会へ(3) 【第7回】商品経済と資本主義経済(1) 【第8回】商品経済と資本主義経済(2) 【第9回】社会経済学の方法 【第10回】重商主義段階の経済 【第11回】自由主義段階の経済 【第12回】帝国主義段階の経済 【第13回】大恐慌と現代資本主義への移行 【第14回】現代資本主義(第二次大戦後の資本主義) 【第15回】第1期のまとめ 【第16回】はじめに 社会経済学の方法 【第17回】商品と貨幣 【第18回】貨幣と資本 【第19回】労働過程と生産過程 【第20回】剰余価値 【第21回】利潤 【第22回】異部門間競争と生産価格 【第23回】生産価格と価値法則 【第24回】同部門内競争と市場生産価格 地代 【第25回】商業資本 【第26回】商業信用 【第27回】銀行信用 【第28回】資本の結合と株式資本 【第29回】資本の商品化と株式価格 【第30回】まとめ</p>								
成績評価の方法	第1期学期末試験(50%)・第2期学期末試験(50%)により評価する。								
フィードバックの内容	試験の解答等の解説を Webclass にアップロードする。								
教科書									
指定図書									
参考書	『経済政策論』(改定版) 宇野弘蔵(弘文堂)1971、『新3版 現代経済の解説』SGCIME 編(御茶の水書房)2017年新刊、『経済原論』宇野弘蔵(岩波文庫)2016、『利潤論の展開——概念と機構——』青才高志(時潮社)1990								
教員からのお知らせ	……@rissho-univ.jp に送信された E-mail が手元で使っているスマホ・PC 等に転送されるように設定しておいて貰いたい。なお、スマホ等の E-mail address が変わった場合には、忘れないで転送設定の変更をしておくこと。								
オフィスアワー	本授業に関する質問・相談は、授業終了後、次の授業に支障がない範囲で教室内にて対応します。また、メールによる質問・相談も受け付けます。 E-mail aosai@shinshu-u.ac.jp								
その他	なお、青才と連絡を取りたい場合には、Webclass を通じてではなく、上記 E-mail address 宛に直接 E-mail すて貰いたい。								